

飛騨法人会だより

No.228

2022

令和4年1月1日 第228号

発行所 高山市花里町3 (公社)飛騨法人会 発行人 洲岬孝雄/編集人 住 宏夫

ウェブサイト <https://hida-hojinkai.com/>

TEL 0577-34-2201

メールアドレス hidahojn@siren.ocn.ne.jp

FAX 0577-33-1093

新春

目次



■ 洲岬会長 年頭のあいさつ	2
■ 名古屋国税局 課税第二部長 年頭の御挨拶	3
■ 署長さん訪問記 新春よもやま話	4~ 7
■ 税務署からのお知らせ	8~11
● 確定申告×マイナポータル ● ネットでe-Tax スマートフォンから!	
■ 年男・年女(壬寅) 今年の抱負.....	12~13
■ 休憩室.....「私のたいせつな宝物 飛騨小坂駅」	14~15
■ 事業所訪問.....奥飛騨酒造株式会社	16~17
■ とんなんしいぺい(支部短編ニュース)	18~19
■ 法人会の活動報告・女性部会だより.....	20~21
■ 青年部会だより	22
■ 読者の窓	23
■ 編集後記	24



—冬の槍ヶ岳— 新穂高ロープウェイ西穂高口駅展望台



年頭のごあいさつ

(公社)飛騨法人会 会長

洲岬 孝雄

新年あけましておめでとうございます。

飛騨法人会の皆さま方におかれましては、ご家族お揃いで新しい年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

また、平素は飛騨法人会活動に対しまして深いご理解と暖かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により未曾有ともいえる危機的事態に陥りましたが、今年には収束が見込まれており企業収益をはじめとして経済社会もコロナ前の状態に戻りつつあるのではないかと考えております。このため、ポストコロナに向けた戦略をどう構築し実行していくかが今後最も問われることになります。

さらに、我が国は先進国で最速のスピードで少子高齢化が進み、かつ、人口が減少するという極めて深刻な構造問題を抱えております。

コロナ禍の克服は難題ではありますが、早期に解決の道筋をつけ持続可能な社会保障制度の構築と財政健全化の両立に取り組まなければならないと考えております。

そして、感染拡大が収束段階になった際には税制はもちろん、大胆な規制緩和を行うなどスピード感をもって日本経済の本格的な回復に向けた施策を講じる必要があると考えております。

新しい年を迎え、今年も飛騨法人会は「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として、税制に関する建設的な提言活動や税に関する研修会の開催、税に関する情報提供など会員への支援を引き続き行ってまいります。

また、青年部会主体で実施している児童・生徒への租税教室などの税の啓発活動や女性部会が実施している「社会貢献活動」、児童の「税に関する絵はがきコンクール」の実施など地域社会の発展を図る事業も展開していきます。

本年も皆さまのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げ、会員企業の更なる発展と皆さまにとりまして幸多い年でありますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



年頭の御挨拶

名古屋国税局 課税第二部長

浅井 清貴

令和4年の年頭に当たり、公益社団法人飛騨法人会の皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。会員の皆様には、平素から税務行政につきまして深い御理解と格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が無観客ながら開催され、多くの日本人選手が活躍しました。

また、メジャーリーグベースボールにおいて、大谷翔平選手が現代野球では例のない二刀流をやり遂げるなど大変喜ばしい出来事がありました。

このような中、新しく迎える年が、会員の皆様にとって充実した年となりますことを祈念いたしますとともに、公益社団法人飛騨法人会が引き続き魅力ある事業活動を展開され、会員企業と地域社会の発展に一層の貢献をされますことを御期待申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症への対応においては、行政のデジタル化の必要性が顕在化するなど、税務行政を取り巻く環境は大きく変化しております。

国税当局としましては、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という使命を果たすために、ICTの活用による「納税者の利便性の向上」と「課税・徴収の効率化・高度化」を2本柱とする「スマート税務行政」を目指し様々な取組を進めてきました。

今後におきましても、申告・納付のデジタル化の推進、内部事務のセンター化等、事務運営の見直しやインフラ整備などの取組を進めてまいります。これらの取組を成し得るためには、e-Taxやマイナンバー制度の更なる普及・定着が必要であり、法人会の皆様の御協力が必要不可欠であると考えております。

また、昨年は、令和5年10月1日に導入されるインボイス制度に係る適格請求書発行事業者の登録申請の受付が開始されましたが、おおむね円滑に進められており、法人会の皆様から、説明会の開催や制度の周知・広報活動など幅広く御協力をいただきましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後も更に、インボイス制度の円滑な導入に向けて取り組んでいくこととしておりますので、引き続き、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、公益社団法人飛騨法人会において取り組まれております「自主点検チェックシート」及び「自主点検ガイドブック」は、納税者の皆様の税務コンプライアンスの向上に役立つものであり、極めて有意義な取組と考えておりますので、今後も積極的な取組をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響の中、会員の皆様には工夫を凝らした会活動を実施していただいているところ、本年は従前以上の信頼関係構築の年にしたいと考えておりますので、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、公益社団法人飛騨法人会の更なる御発展と、会員の皆様の御健勝並びに事業のますますの御繁栄を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

署長さん 訪問記

新春よもやま話



高山税務署長
遠藤 由敬氏

ききて	会 長	洲 岬 孝 雄
	広報委員長	住 宏 夫
	女性部会副会長	佛 坂 尚 子
	青年部会長	高 橋 厚 生
	専 務 理 事	渡 辺 浩 和

—— 明けましておめでとうございます。

本日は「新春よもやま話」と題しまして、署長さんにいろいろとお話をお聞きしたいと思います。

よろしくをお願いします。

署長 明けましておめでとうございます。

昨年7月に高山税務署に赴任して半年になりますが、旧年中は法人会の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

今年も引き続きよろしくをお願いします。

—— 署長さんの出身地を教えてください。

署長 私の出身は、愛知県の知多半島の中央部に位置する半田市です。

半田市は、「山車」・「蔵」・「南吉」・「赤レンガ」の町ということで、PR中なんですが、あまりご存じないかもしれませんね。(笑)

では、一部紹介させていただきますと、最初の「山車」、「やまぐるま」と書いて「だし」と読みますが、半田市の春祭りとして、毎年3月下旬から5月3日・4日にかけて市内10地区の神社で、高山祭の屋台には負けますが、彫刻、刺繍幕で飾られ、からくり人形を載せた総勢31輦の山車を各地区で曳き廻します。

特に「亀崎潮干祭の山車行事」は、ユネスコ無形文化遺産に登録され、国の重要無形民俗文化財にも指定されておりまして、神社前の砂浜に山車5輦が曳き下ろされる、市内随一の祭礼です。また、5年に一度、各地区の山車31輦が勢揃いする「はんだ山車まつり」もかなり定番化して、多くの観客が訪れておりまして、31輦が並ぶ姿は中々壮観な眺めです。「蔵」・「南吉」・「赤レンガ」については、また別の機会に紹介します。

私自身は、この半田生まれの半田育ちでして、自宅には、妻と、息子と娘を残し、単身赴任で高山に参りました。

—— 今年の7月に赴任されてから、半年が経ちますが高山はいかがですか？

署長 まずは管内がとても広いというのが第一印象です。

高山税務署の管轄面積は全国で6番目であり、北海道を除くと1番広いのですが、面積の95%は森林ということで、本当に豊かな自然に囲まれて環境がいいところだと実感しています。

着任当初から高山税務署経験の諸先輩方、関係民間団体の方から管内の名所などを紹介さ

れましたので、新型コロナウイルス感染症対策にも配慮しつつ、高山の古い町並みや古川の美しい瀬戸川沿いを散策したり、乗鞍岳、五色ヶ原の森などの山歩きなどにも挑戦して、飛騨地域の名所を楽しみながら、マイペースで飛騨の文化を学んでいます。

ただし、一つ残念なのは「秋の高山祭」が今年も中止されたことです。先ほどもお話ししましたが、「山車」の町半田市出身ということもあり、高山の屋台を拝見するのが異動後の最大の楽しみにしておりましたので・・・。

コロナ禍においては、中止という判断は仕方がないことであると理解はしていますが、半田市もこの二年間すべての祭りが中止されており、高山でも同じだと思いますが、観光面のマイナスはもとより、引手や雛子方など伝統の承継という意味でも大きなマイナスなので、早く元の状態に戻ることを願ってやみません。

—— 飛騨の文化といえば、地酒も飛騨の文化の一つに数えられると思いますが、飛騨の地酒のご感想はいかがですか？

署長 飛騨のお酒は本当に美味しいですね。

特に管内には12の酒蔵がありまして、10月中旬から1件ずつ酒蔵を訪問させていただいておりますが、皆様、酒造りに対する熱い思いを持って、それぞれバラエティに富んだお酒を工夫して作ってみるのが印象的でした。私は、それほど強くはありませんが、訪問先ではお酒をそれぞれ購入させていただいておりますので、少しずつ、楽しみながら、味わっていこうと思っております。

—— 初めて経験する高山の冬はどうですか。

署長 冬の厳しさについては、こちらに赴任する前、そして、赴任してからいろいろな方から話を聞いており、戦々恐々としています。(笑)

私としては、寒冷地での生活が初めてですし、宿舎をしばらく空ける場合は水道管等の水抜きが必要など、事前の準備が足りているか不安もありますが、飛騨の冬ならではの美味しい食べ物、素敵な風景などもあるかと思っておりますので、今年の冬

を存分に楽しみたいと思っています。

ただ、仕事に関していえば、管内はとても広く、調査等で出張する場合は、走行距離も長くなるので、職員の交通事故には気を遣います。職員には、常日頃から安全運転をするように指示していますが、これから本格的な冬の季節を迎えるため、雪道の運転などより一層の安全運転を心掛けさせます。

—— 署長さんのこれまでの職歴を教えてください。

直前は、名古屋国税局課税第一部国税訟務官室の国税訟務官を2年、その前は岐阜北税務署特別国税調査官(開発調査担当)を1年、さらにその前は昭和税務署副署長を2年経験しました。全体を振り返りますと、大学を卒業し、昭和63年4月に名古屋国税局に採用後、最初に配属されたのは、名古屋中村税務署の所得税部門(現在の個人課税部門)で、職場に入って、今年で34年目になります。そのうち、13年間は税務署の個人課税の仕事をしてきましたが、それ以外は、直前の3年間の部署もそうなのですが、国税局の総務課、課税総括課など、いずれも個人課税の仕事だけを部署ではなく、他の事務系統の職員と一緒に仕事をする部署でした。他の事務系統の職員と仕事をするということは、同じ国税の仕事をしてはいますが、事務系統ごとの仕事のやり方、考え方がありますし、各職員のそれまでの経験値なども異なりますので、その中で仕事を進めるのはとても苦労しましたが、その時々色々なメンバーと話し合いながら、その時のメンバーの特性を生かし、自身も生かされながら、色々な問題を乗り越





え、仕事をやり遂げてきたことは、今となってみると、その経験や色々な人との出会いを含めて私の財産になっています。

—— 署長さんの座右の銘がございましたら教えてください。

署長 座右の銘ということで特に意識しているものはありませんが、先ほどの職歴の際にもお話したように、私の職場人生において、今の自分があるのは、まさに、その時その時の色々な人との出会い、ご縁に支えられてきた結果であることからすれば、ありきたりな言葉にはなりますが、「一期一会」がそれにあたるのかなと思います。

この高山署においても、法人会の皆様を始めとした多くの方との出会い、ご縁を大切にしていきたいと思っています。

—— 趣味などがありましたら教えてください。

署長 趣味は、というか、これはもう半分仕事のようになっちゃっていますが、家の裏の土地を荒らさないために始めた家庭菜園ですね。四季を通じて、約30種類の野菜を栽培しています。特に、夏のトウモロコシ、枝豆は、採れたてをすぐに茹でて食べるのが最高に美味しいです。今、畑には、玉ねぎ、ニンニク、大根、カブ、白菜、キャベツ、ブロッコリー、芽キャベツ、カリフラワー、水菜などがスタンバイしています。また、パンジーなどの花苗も種から栽培したりしていますね。ただし、ピーマンなど一部野菜は作りすぎて、消費が間に合わず、妻からいつも怒られています。そういった野菜

達は、私の毎日のお弁当の一部として、単身赴任となった今も消費されています。(笑)

それと、プロ野球観戦ですね。愛知県出身なので、根っからの中日ドラゴンズファンでして、毎年バンテリンドームで観戦しています。ここ数年はモヤモヤが溜まるばかりの試合をしていましたが、今年は立浪新監督を迎えましたので期待ができるのではと、今から開幕を楽しみにしています。

特に今年は個人的にはずっと期待していた飛驒市出身の根尾昂選手、そして、私の地元半田市出身の石川昂弥選手、この両選手が活躍してくれるのではと思っています。



あとは、これは特に前任の国税訟務官室の時から始めたのですが、健康づくりとストレス解消を兼ねて、毎日、できるだけ歩くようにしてしまっていて、以前は、概ね1日1万歩を目標に歩いていたのですが、現在は宿舎が署に近過ぎるので・・・。あまり実践できなくなっています。(笑)

—— 署長室にある「根尾選手さるぼぼ」はそういう意味だったのですね。

署長 ……。(笑)

—— 署の運営について、署長として取り組まれていることを教えてください。

署長 高山税務署は、職員数45名の若手職員が多い小規模署であり、各担当事務に従事する人数も限られていますので、職員各自が、与えられた職責の役割を果たし、その能力を最大限に発揮するとともに、職員が互いに協力・支援し、事務を遂行する必要があります。そのために、「チーム高山」として一体感をもった仕事に取り組めるよう、明るく風通しの良い職場環境を構築するとともに、メリハリをつけた仕事を行い、ワークライフバランスの取れた生活につなげるよう運営しており、特に独身もしくは単身赴任で生活している職

員が多いため、職員が心身両面において健康を害することがないように、適切な身上把握に努めております。

—— 今後の税の方向性についてお聞かせください。

署長 皆様ご承知のとおり、令和5年10月1日より適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)の導入が予定されております。

インボイスを交付する事業者となるには事前に登録申請が必要となり、当該申請書の受付はすでに開始されておりますが、令和5年10月1日から当該事業者となるには、原則として令和5年3月31日までに登録申請書を提出する必要がありますので、これを円滑に進めることが重要になります。

各地で説明会等を積極的に実施しておりますが、機会ある度にインボイス制度で対応が必要な事項等を説明するなど円滑な改正への対応に尽力したいと考えています。

そして、いよいよ令和3年分の確定申告が始まります。

本年も昨年に引き続き、確定申告会場は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、いわゆる三密を回避するために、申告相談スペースを確保した上で、人と人の距離を確保することとしています。

昨年は、確定申告期限が3月15日から4月15日に延長されましたが、本年分は現状では、3月15日となりますので、期限間際の確定申告会場は大変な混雑が予想されるため、ご自身のスマートフォンやご自宅のパソコンから国税庁ホームページにアクセスし、確定申告書を作成していただき、e-Taxで提出していただきたいと思います。

特に今年はスマートフォンによる申告が、「スマホのカメラで源泉徴収票を自動入力」が可能となるなど、昨年よりさらに便利になっております。

是非、法人会の会員企業の皆様には、「究極の感染防止策」となる「スマホからのe-Tax」、「パソコンからのe-Tax」を従業員の皆様にも周知していただきますようお願いいたします。

—— 最後に法人会に対する意見や要望があればお聞かせください。

署長 飛騨法人会の皆様には、長年にわたり税務行政に対するご支援とご協力をいただいております。特にコロナ禍において、小・中学校の児童・生徒に対する「租税教室」は、昨年を上回る学校数で実施していただくとともに、「税に関する絵はがきコンクール」についても、昨年を上回る学校数からの応募及び応募数となるなど、日本の将来を担う子供たちに、税の役割や日本の現状を知り・考える機会を与える周知・広報活動を積極的に展開していただいていることに関しまして、改めて感謝申し上げます。

今後とも、飛騨全域にわたる税の啓蒙活動や地域社会貢献活動に積極的に取り組んでいただきたいと思っております。

最後になりますが、適正な申告・納税をしていただくことが国税庁、税務署の使命ですが、そのためには何より地元企業が元気に活動され、飛騨地域の経済が発展することが重要だと思っております。まだまだ、コロナ禍においては、法人会活動や夜の懇親会など、制限を受けながらの対応をしていますが、飛騨法人会洲岬会長はじめ役員の方々、会員の皆様の指導力の下、飛騨地域を盛り上げていただけるようお願いしております。

今日は、お忙しいところ、いろいろなお話を聞かせていただきありがとうございました。



確定申告 × マイナポータル

自動入力対象が拡大 (注1、2、3)

ふるさと納税

株式の特定口座

住宅ローン控除関係

生命保険

地震保険

医療費 (注4)



令和3年分確定申告から
さらに広がる自動入力！

注1 自動入力するためには、裏面の事前設定が必要となります。

注2 自動入力可能な証明書等は発行元がマイナポータル連携に対応している必要があります。
国税庁HPの「マイナポータル連携特設ページ」でご確認ください。

マイナポータル連携
特設ページはこちら

注3 令和3年分確定申告から、ふるさと納税及び地震保険もマイナポータル連携の
対象になります。



注4 医療費について、令和3年分の確定申告では、令和3年9月～12月分の
医療費通知情報（保険診療分）が令和4年2月上旬にマイナポータルから取得
可能となる予定です（令和4年分以降は1年間を通じた医療費通知情報（保険
診療分）が取得可能となる予定です。）。

今後、自動入力対象をさらに拡大していく予定です。

～マイナポータル連携を行う前の事前設定～

STEP 1 マイナンバーカードの取得

マイナンバーカード
の取得申請はこちら



メリットいっぱい！マイナンバーカード

コンビニで
各種証明書が
取得できる

本人確認書類
になる！

健康保険証と
一体化予定
【令和3年10月～本格運用】

運転免許証と
一体化予定
【令和6年度末】

STEP 2 マイナポータルの開設

「マイナポータルサービス」にアクセス！

マイナポータルの
開設はこちら

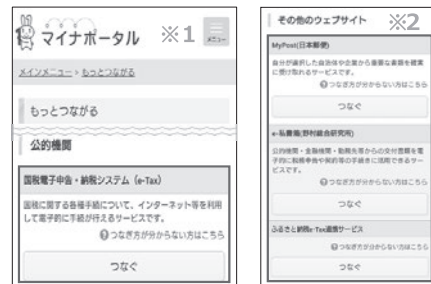


STEP 3 マイナポータルの 「もっとつながる」設定

マイナポータルの「もっとつながる」メニューから
マイナポータルとe-Tax(※1)及び
民間送達サービス(※2)をつなぎます。



マイナポータル「もっとつながる」メニュー画面



STEP 4 証明書等の発行元と民間送達サービスをつなぐ（連携）設定

- ① 証明書等の発行元（例：ふるさと納税のポータル事業者等）がマイナポータル連携に対応していること、どの民間送達サービスを利用しているか確認します。
- ② 発行元のサイトから民間送達サービスと連携するための手続を行います。
手続方法は上記STEP3の民間送達サービスから一連の流れで行えます（発行元が対応している場合）。
ご不明な場合は、発行元にお問い合わせください。

マイナポータル連携可能な
証明書等発行元一覧はこちら



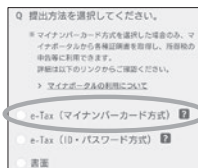
STEP 5 確定申告書等を作成

確定申告



確定申告書等作成コーナーへ

スマートフォン画面



パソコン画面



- ・各種設定には、マイナンバーカード読み取り対応のスマートフォン（又はICカードリーダライタ）が必要です。
- ・控除証明書等データがマイナポータル経由で取得可能となるには、STEP4の設定後、数日要する場合があります。
- ・このチラシには開発中の画面が含まれておりますので、実際の画面と異なる場合があります。

ネットで e-Tax

かんたん・便利♪

スマートフォンから！

STEP 1 国税庁ホームページへアクセス

推奨ブラウザ

iPhoneの方 Androidの方

Safari Google Chrome

確定申告



確定申告書等作成コーナー
にアクセス

確定申告書等作成コーナー



STEP 2 送信方法を選択

国税庁 確定申告書等作成コーナー

1 申告準備 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6

申告内容に関する質問

Q 確定申告をする年は令和3年分ですか。

はい いいえ

Q 提出方法を選択してください。

※ マイナンバーカード方式を選択した場合のみ、マイポータルから各種証明書を取得し、所得税の申告等に利用できます。詳細は以下のリンクからご確認ください。

マイポータルの利用について

e-Tax (マイナンバーカード方式) ?


e-Tax (ID・パスワード方式) ?

書面

次へ

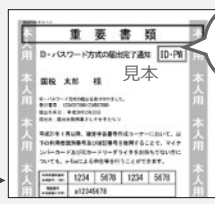
戻る

マイナンバーカード方式



「マイポータルアプリ」をインストールし、マイナンバーカードをスマホで読み取り

ID・パスワード方式



ID・PWが目印

住所、氏名等の情報が表示されます

e-TaxのID (利用者識別番号) とパスワード (暗証番号) を入力

「ID・パスワード方式の届出完了通知」はお持ちの方

i 「ID・パスワード方式の届出完了通知」は税務署で発行しています

発行を希望される場合は、申告されるご本人が顔写真付きの本人確認書類をお持ちの上、お近くの税務署にお越しください。平成30年1月以降、税務署や確定申告会場にお越しになられた方は、「ID・パスワード方式の届出完了通知」が申告書の控えと一緒に保管されている場合がありますので、ご確認ください。

※ ID・パスワード方式は暫定的な対応ですので、お早めにマイナンバーカードの取得をお願いします。また、メッセージボックスの閲覧には、マイナンバーカード等が必要です。

STEP 3 金額などを入力

STEP 4 送信

収入の入力



給与所得の源泉徴収票
などを入力

控除の入力



医療費やふるさと納税の領
収証などを入力



e-Taxで送信

スマホのカメラで自動入力！（給与所得の源泉徴収票）



カメラを起動して
源泉徴収票を撮影



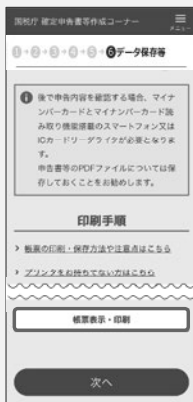
内容を確認



読取内容が自動入力

NEW!!

保存方法



「帳票表示・印刷」をタップ

iPhoneの方



「共有」ボタンをタップ

Androidの方



「ファイル」に保存」を選択



自動で端末内に申告書
データが保存される

保存データの確認方法

iPhoneの方



ファイル

保存データは「ファイル」アプリから
確認することができます

Androidの方



「Google Chrome」の
右上の「:」ボタンをタップ



「ダウンロード」メニューから
保存データを確認できます

- ・ご利用には別途通信料がかかります。
- ・このチラシには開発中の画面が含まれておりますので、実際の画面と異なる場合があります。
- ・iPhone、Safariの名称及びロゴは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・Android、Google Chromeの名称及びロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。



新年を迎えて

青木自動車(有)
青木 勇
(高山南支部)

新年あけましておめでとうございます。6度目の年男を迎えました。72歳。よくも元気で生きてきた、元気で仕事をしてきたと思っています。私の尊敬する下呂市出身のスズキ(株) 会長 鈴木修氏(昨年6月退任)は副代理店大会の会場でよく言っています。「私の年齢は7掛けで見ていただきたい」。2000年、70歳で会長に就任した時に「かつて人生50年と言っていたが、今の平均寿命は70歳超。ならば年齢も7掛けで考えるべきではないか。70歳と言っても7掛けすれば49歳。だから退くのではない。まだまだ現役でバリバリやっていく」。修氏の言葉を借れば、私は7掛けで50歳。残りの人生を元気で生きていきたいと思ひます。人の能力の差はそんなに無い。体力、気力、努力次第で逆転する。要はやる気を出せば何でもできる。私はこの事を自分に言い聞かせて趣味のゴルフに、ウォーキングに活かして生きていきたいものです。



皆様に支えられて

(株)春昇建築
小池 二三春
(萩原支部)

弊社は私が一代目で建築会社を立ち上げました。あれから30年の月日が経ち、今では後継者として長男に代表を譲りました。もう自分が60歳とは。いやいやまだ60歳です。会社も地域の皆様に支えられ、今は高山にも出店しJYU—STYLE建築設計という屋号にて営業しています。

しかしながら独立当初は何もわからず、右往左往していた時、ある人から「とにかく顔を売れ」と言われ、いろんな行事に参加し、いろんな団体活動の会に入会しました。ある時少しだけ有頂天ぎみの私は、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざに謙虚さを忘れてはならないと思ひ、ずーとこの言葉を大切にきました。今では、内助の功に感謝しつつ、地域の皆様や諸先輩方からのご指導のお陰と思っています。まだまだやりたい事も沢山あります。どうか、これからもご指導のほどよろしくお願ひいたします。



新しい年を迎えて

(株)熊崎組
熊崎 一真
(小坂支部)

年男と言っても実感がわかないので、昨年の出来事や新年の抱負を書こうと思ひます。一昨年に続き昨年も豪雨災害と、これまで経験したことがない衝撃的な出来事が起きています。私の就いた建設業は、災害に深く関わっているとともに、地域を守っていくという働きもあると思ひます。皆さんの生活や大切な人たちを守るように、これからも努力していこうと思ひます。

今年は、年男ということで、社会人3年目となります。初心を忘れず何事にも全力投球でいろいろなことにチャレンジしていきたいと思ひます。良いことは、自分で掴み取りにいっ勢いで、何事にも臆せず取り組んでいけたらと思ひています。より充実した年となるよう努力していきます。



年男としての一年をどう過ごすか

(有)廣田電気設備
廣田 耕作
(古川支部)

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスが進化を繰り返して私たちの生活の脅威となっています。

その中で迎えた寅年は希望に溢れてはいますが、今までにない状況に対し柔軟に順応できるよう自身が進化していかななくてはなりません。

私の人生のテーマは「自身の手に届く場所や人を守る」を掲げていますが、今年の抱負として「心・技・体」+(プラス)を掲げました。

「心」は豊かであるほど様々な環境の変化を理解できると思ひますので、読書が有効と思ひ「ジャンルにとらわれない読書」を習慣化します。経営に関する本ばかり読んでいたので、文庫本やノンフィクションにも挑戦したいです。

「技」は電気工事業を行うに、お客様にいつも高い水準の技術をご提供する必要があります。

昨年は1つの資格を新規に取得しましたが、今まで苦手意識を持っていた分野の資格を取得し「技」の進化を行います。

「体」はそもそも酷使していることを反省し、「健康」を重点的に改善します。

昨年より自重トレーニングを少しずつ行い継続できていま

すので、これを継続しながら人間ドックのメニューの追加受診や日々の食事に健康を意識したいです。

しかしながら大層な抱負を書きつつも、最も進化が必要で重要な抱負はプラス部分として掲げる「妻への感謝」なんだろうと思いつつ新年を迎えています。どうぞ本年もよろしく願い申し上げます。



新年を迎えて

下呂市地域おこし協力隊
鈴木 亘
(金山支部)

飛騨金山に地域おこし協力隊として移住して3年、これまでの人生の中で最も変化に富んだ時間だったと感じています。

2019年11月に初めての事業となるボルダリングジムを開業しました。順調にお客さんが増えていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で休業せざるを得なくなりました。その後なんとかせねばとクラウドファンディングにも挑戦しました。不安ばかりでしたが最終的には170名近い方々に応援頂き、密を回避するためにボルダリングエリアを拡張する工事を実施することができました。

今でも厳しい状況は続いているようですが、地元の常連さんたちに支えられ、楽しくお店を続けられています。家族や親せき、ご近所さんに友人や職場の同僚などなど、これまでに関わってきた多くの方々に支えられて、新米事業者ながらここまでやってこられました。支えてくださった皆様、本当に本当にありがとうございました。

2022年は3回目の年男です。ここからは皆さんに支えて育ててもらった分を恩返ししていきたいと考えています。そして12年後、4回目の年男になったときに胸を張って自身を振り返られるよう、わくわくしたエキサイティングな人生を送りたいと思います。



新年を迎えて

(有)大坪酒造店
大坪 和己
(神岡支部)

創業1842年(天保12年)の弊社はお陰様で180周年を迎える事が出来ました。

これもひとえに神岡・奥飛騨温泉郷を中心とした飛騨一円の皆様の応援のたまものであると深く感謝する次第です。

今は大多数の人々がCOVID-19に気を奪われがちであり、とても重要なことでもあります。が、私たちの将来を考えるうえで最も重大な問題は人口の減少にあると考えます。

人口減少は労働人口問題に直結するとともに消費行動にも大きな影響を与えます。

これはとりもなおさず経済活動の停滞を意味するものであり重要なことと思います。



今年で還暦

(株)正直屋
中島 政彦
(下呂支部)

還暦と聞いたらおじいさんの始まりかなってずーと思っていました。その通りです。25歳で下呂に戻り父の開業した寝具店の2代目として好景気の最中に新店舗を構え35年の日々が経ちました。世の中の変化を色々と見てきましたが、今回のコロナ禍により世界の経済が止まったことが60年の人生の中で最も考えさせられた出来事と思います。

私は今後どうするべきか色々考えながらこの2年程を過ごしました。会社の方向性も自分なりに深く考える時間が持てたと思います。逆にコロナ禍がなかったら方向性が変わっていたと思います。そして60歳になり一番思うことは人生の終わりも考えなければいけないということです。後10年70歳までは仕事を頑張るつもりでしたが、バイデン大統領が79歳で4年間頑張るので私も80歳現役を目指します!次回の抱負は24年後に登場します。確実に近づいている終わりに向けて楽しくやるのが一番。立浪もいいけど新庄もいいかな。



新年を迎えて

高橋建設(株)
高橋 厚生
(高山支部)

ついに4度目の年男です。無事に48年目を迎えられることに感謝するとともに、これからの我が人生に期待をしたいところです。

弊社は、1954年に創業し、間もなく70年となります。長きにわたり続けてこられたのもお客様、地域の皆様、協力業者の皆様、一緒に働いてくれる社員、多くの方々に支えられてのこと。感謝・感謝です。新年にあたり抱負を考えておりましたが、頭に浮かんでくるのはご縁への感謝ばかり、このご縁の広がりが、年を重ねてきた成果だと感じています。

近年は、豪雨災害や地震災害、飛騨のみならず、日本、世界をも巻き込んだコロナウイルスの猛威など、個人では対処しきれない事が多発しています。そんな時にこそ人とのつながり、ご縁の大切さを感じます。このご縁に対し私に何が出来るのか、我が社に何が出来るのか。一過性の事ではなく、続けていける事。今までのように、これからも年を重ねていける事。

答えはわかりませんが、気負わず、前向きに、一生懸命、精進していきたいと思っています。

休憩室

「私のたいせつな宝物 飛騨小坂駅」

飛騨小坂駅友の会会員 小林 浩二

● 昭和30年代の懐かしい思い出

今から約60年前、幼少期の私の思い出話から。ある夏休みのお話です。当時小坂中学校で教鞭をとっていた叔父が「今日は汽車に乗ってええところへ行くで、やわいをしておいで」と小学校低学年だった私と従弟連れ出します。めったに列車に乗る機会などなかった幼い私たちの感情の昂ぶりはすぐマックスへ。汽車に乗ってどんな大きな町へ行けるのか、期待と勝手な妄想で胸を膨らませます。私たちを乗せた国鉄高山線の蒸気機関車は飛騨萩原駅を出発、ほどなくして到着したのが飛騨小坂駅でした。列車を降り地下道をくぐり抜けて駅舎から出た私の前に現れた光景は、思い描いていた大都会とは少し違っていただけ、人や物が行き交う活気に溢れた街の姿でした。駅周辺には集積され輸送を待っている夥しい量の材木の山。駅前には食堂や店が軒を連ね、バスの発着所には行列をつくるたくさんの旅行者や登山客の姿がありました。幼い頃のほんやりとした思い出。私の心に残る昭和30年代の活況を呈していた小坂駅や街の情景です。



開業のころの飛騨小坂駅

● ずっと人々の暮らしを支えてきた小坂駅

さて、今回は飛騨小坂駅の駅舎とそれに纏わるお話です。駅の開業は1933年(昭和8年)です。

翌年には国鉄高山線全線が開通しました。明治時代からの鉄道敷設運動開始から実に40数年、飛騨人の悲願がようやくかないました。爾来、飛騨小坂駅も地域の産業や暮らしの中で大きな役割を果たします。

御嶽山麓の国有林から伐りだされた良質な木材や各種資材は、総延長数十キロにおよぶ森林鉄道によって駅に運ばれ、戦前から戦後の復興期にかけて人々の暮らしを支えました。

また旅の玄関口として御嶽の登山者や御嶽教の信者、温泉宿(濁河、湯屋・下島)への湯治客を迎え送り出しました。資料によると昭和36年の飛騨小坂駅の年間乗降者数は20万人を超えており、昼夜交代勤務の駅員さんも全員で18名だったとか。

時を経て、やがて輸送手段や国産材木の需要の変化とともに飛騨小坂駅の役割も変わります。駅は2011年(平成23年)からは無人化となり、昔の賑わいはだんだんなくなりました。開業から約90年、地元の暮らしを支え、人々に愛されてきた飛騨小坂駅。長い歴史の中で、都会への就職や進学、戦時中の出征など、たくさんの旅立や別れを見守ってきました。

● 自慢の駅舎をボランティアで保全

飛騨小坂駅の特徴は何とんでも重厚な木造建築の様式、杉の丸太を組み上げたログハウス風の純木造建築にあります。駅舎入口の屋根には神社のように千木をのせ、霊峰御嶽山の登山口であること、木材の街のシンボルとして飛騨小坂の威信をかけて作られたことを物語っています。また構内にある駅舎とホームを結ぶ、地下道も自慢の特徴の一つで、中部運輸局の「中部の駅100選」にも選ばれた私たち自慢の宝物です。

現在この文化遺産をPRし、訪れる人々をあたたく迎え入れようと、地元有志でつくった「飛驒小坂駅 友の会」(田立泰彦会長)のメンバーが保存活動をしています。活動内容は、駅舎の広報だけでなく、清掃や美化活動、駅内でのギャラリーの開設、正月の門松設置など、多岐にわたっています。

また友の会が設置している「駅ノート」にはたくさんの書込みがあります。「初めて小坂駅に来ました。アジサイの花がとてもきれい。構内も清潔で感じが良くとてもいい印象を受けました。またいつか来ますね」「京都から来ました。BS1の木造駅舎の番組でこの駅を知りました。都会じゃなかなかみられません」など、あたたかいメッセージは活動の原動力にもなっています。

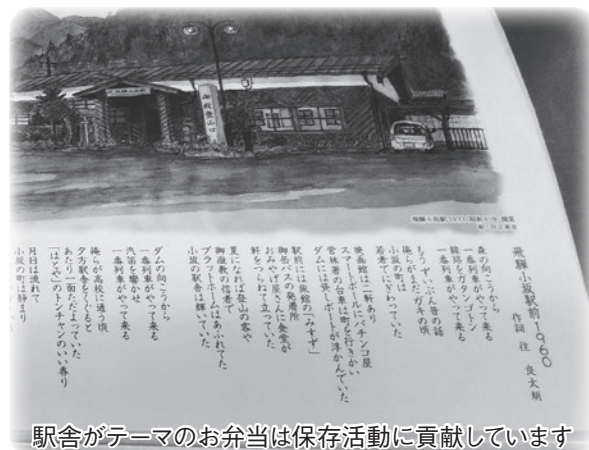


飛驒小坂駅友の会では毎年駅舎に門松を飾りつけます

● 駅舎のお弁当を食べて活動応援も

また駅舎のPRや保存活動に一役買おうと、地元のみなさんも応援をしています。その一つが駅舎と飛驒小坂をテーマにしたお弁当です。観光協会、商工会などの協力のできた「わたしの好きな♡飛驒小坂」弁当は、川魚、ぶなしめじ、コシヒカリなど小坂の食材と炭酸泉を調理に使用、町内会行事などで注文される地元密着型商品です。パッケージには、田立会長が描いた駅舎の水彩画と地元喫茶店の店主、住良太郎さんが作詞を手掛けた「飛驒小坂駅前1960」の歌詞をデザインしました。「森の向こうから一番列車がやってくる」で始まる歌は、作者が体験した駅舎の懐かしい情景を表現し、歌はコ

ンサートなどで歌われます。弁当の販売は日帰り温泉施設「ひめしゃがの湯」で。価格は1,000円(税別・予約制です。)売り上げの一部が、飛驒小坂駅の保存、PR活動に充てられています。



駅舎がテーマのお弁当は保存活動に貢献しています

● ほっとする小坂のっておき

半世紀以上も前に訪れた思い出の場所。幼い私にとってあんなに大きく賑やかに見えた駅も、今ではひっそり静まり返りポツンと寂しそうに立っています。すでに齢90をゆうに超えた件の叔父も、懐かしそうに当時の賑わいを振り返ります。長い間激動の時代を見守り続けてきた小坂の駅は、私たちのたいせつな宝物です。偶然にも、小坂で働くことになった私も、小坂駅友の会に関わらせていただいています。

読者の皆さん。御嶽山や滝、温泉を楽しみに飛驒小坂へお越しになる機会がありましたら素敵な駅舎もお忘れなく。あたたかく、ほっとする小坂のっておきです。



小坂駅の全景。1933年開業の駅舎は貴重な文化財です

事業所訪問

奥飛騨酒造株式会社

概 要

代表者：代表取締役 高木 千宏
所在地：岐阜県下呂市金山町金山1984番地
創業：享保5年(1720年)
事業内容：日本酒製造販売
従業員：16名

対 談

ききて 本日は、お忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。

早速ですが、会社の沿革などからお聞かせいただけますでしょうか

社長 当社は、享保5年(1720年)より岐阜県の中心に位置する下呂市金山町にて造り酒屋を創業し、昨年おかげ様で創業300年を迎えることができました。

また、昨年4月第27回岐阜県新酒鑑評会で岐阜県知事表彰をいただく事ができました。地元のお客様や、全国各地のお客様、歴代のスタッフに支えられ、この土地で酒造業を続けてこられたことに心より感謝しております。



高木社長ご家族



ききて 受賞誠にありがとうございます。良いお酒造りにあたっては、こだわりを持って取り組んでおられる事と思いますが、そのあたりを教えていただけますか。

社長 まずは水とお米にこだわりを持っています。

飛騨金山は、山々に囲まれ、馬瀬川と益田川の合流地点ならではの豊富な水に年中恵まれています。弊社は地下50メートルから水をくみ上げ濾過し、日本酒の仕込み水として使用しています。

又、原料のお米は、飛騨でとれた酒造好適米「ひだほまれ」を中心に、兵庫県産山田錦、長野県産美山錦などをこだわって使用しております。5年前からは、飛騨金山で栽培された岐阜クリーン農業認定「飛騨ほたる米」をスパークリング日本酒に使用しており、地元農家さんと協力して地域活性化に繋げることができ大きな喜びとなりました。

そんな中、何よりも一番のこだわりは、お客様の気持ちを和らげるお酒造りです。皆様の日々の生活の中で弊社のお酒を飲んで、ほっとしていただいたり、笑顔になるお手伝いができるようなお酒造りに心がけています。

また、色々な方の好みにあったお酒が見つかるよう、フルーティ、キリッと辛口、綺麗な酸味が特徴のお酒などバラエティに富んだお酒を、お米や酵母の特徴を生かしてご用意しております。

ききて 美味しいお酒を皆様に召し上がっていただくために、念願だった新しい機械を導入さ

れたとかお聞きしましたが、その辺りを少しお聞かせいただけますでしょうか。

社長 弊社では、フルーティな生酒や高級酒を年間通して冷蔵庫で保管しておりましたが、出荷量が増えたことにより、保管スペースが足りなくなってきました。また、近年の温暖化現象により火入れ処理していない生酒は、より低温で保管することが必要となってきました。そこで、「岐阜県小規模地場産製造業ものづくり技術向上支援補助金」を活用させていただき、長年の夢だったマイナス5度まで対応できる氷冷庫を導入致しました。

氷冷庫を導入したおかげで、保管スペースも広くなり、生酒の絞ったままのフレッシュな味わいがキープできるようになり、酒の品質向上に繋がっております。

ききて 一昨年、初めて蔵開きを行われたとお聞きしましたが詳しく教えていただけますか。

社長 創業300年を迎えるにあたり、これまで挑戦したことのなかった「蔵開き」を一昨年11月に初めて開催しました。

日頃お世話になっている地域の方々やお客様への感謝の気持ちと、飛騨金山を盛り上げたいという思いから、社員で何度も意見を交わして企画し、「筋骨めぐり」ツアーや日本酒講座、バイオリニストの演奏など手作り感いっぱいの初イベントとなりました。



蔵開きの様子

当日は予想を超える400名以上の方にご来場いただきました。

昨年と今年はコロナウイルスの影響で開催を延期しましたが、今後も継続してまいりたいと思います。

ききて それでは、最後に御社の今後の展望についてお聞かせ頂けますでしょうか。



蔵元看板娘

社長 現在三人の娘がそれぞれ酒造り、営業、ネット通販、瓶詰めなどに従事しております。

今後も皆で力を合わせて、よりネットやSNSを活用した情報配信を強化し、お客様に身近に感じていただけるような酒蔵を目指していきたいと思っております。

現在アジアを中心に輸出を行っておりますが、ヨーロッパなどへもより力を入れていきたいと思っております。

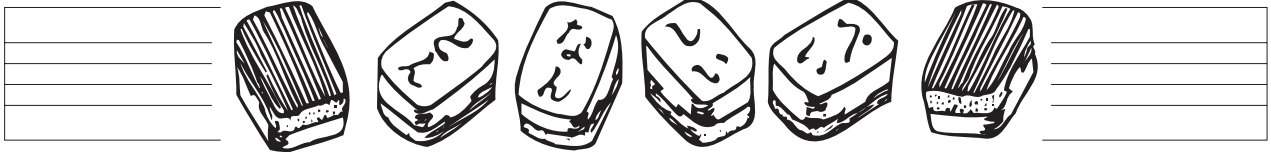
今後も地域への感謝と貢献を意識して末永く事業に取り組んでいきます。

是非近くにお越しの際には、弊社へお立ち寄りください。

心よりお待ちしております。

本日は、お忙しい中お話を伺いながら社長の酒造りへの熱い思いを感じました。これからも地域を牽引する造り酒屋としてご尽力ください。ありがとうございました。

(ききて 加藤)



金山支部 JR さわやかウォーキングが開催されました！

11月23日（火・勤労感謝の日）飛騨金山駅を中心としてJR東海主催の“さわやかウォーキング”が開催されました。

このウォーキングは10月9日～12月18日間に、東海各地区のJR沿線にて延べ44回計画され、その1回として「飛騨金山宿 昭和レトロな路地裏迷路の探訪」と題して開催されたものです。

当日は、冬型の気圧配置となり、あいにくの曇り空とはなりましたが451名の方に参加頂く事ができました。

飛騨金山駅を出発し、今一番見ごろを迎えている“もみじ”で



有名な玉龍寺、道の駅かれん、筋骨巡りなどの約10kmのコースを思い思いのペースにて散策し、晩秋の飛騨金山路を楽しんで頂きました。

又、出発点の飛騨金山駅では、地元観光協会、商工会などの職員によるパンフレット、粗品のプレゼントやクーポン券の配布、沿線ではお茶や地酒試飲サービス、物販などが行われ、地域一体となって歓迎ムードを高めました。

コロナ禍により静まりかえっていた街並みに久しぶり賑わいが戻り、活気づいた一日となりました。

（加藤 記）



さわやかウォーキングの様子

高山南支部 税務研修会

去る令和3年11月25日(木)、高山税務署より中荒江上席を講師にお迎えし、10月より登録申請が開始された「インボイス制度」をテーマに税務研修会を開催いたしました。買い手が支払った消費税がどのように納付されているのか、といった基本的な仕組みから、制度開始後は免税事業者からの課税仕入は原則として仕入税額控除が受けられないこと(段階的な経過措置あり)、発行する適



税務研修会の様子



講師の中荒江上席

格請求

書に追加される事項や現行との相違点等について説明がありました。また、免税事業者の事業内容、商品(サービス)を提供する相手によっては現行のままでも影響のない事業所もあるため、制度内容をよく確認することが大切とのことでした。開始まで2年弱です。ギリギリになって慌てることのないようにしたいものです。

（池畑 記）

高山支部 雅び心・遊びどころ…飛騨高山の飾り物

昨年10月に「飾り物」が、高山市の無形民俗文化財に指定されました。

飾り物は、色々な道具を利用して本物そっくりに形作る「作り物」や高山では主流となっている何かに見立てて表現する「見立て物」などがあり、230年以上の歴史を持つ高山独自の粋な文化で、全国でこの例を見る地域は他には有りません。

かつては町家の表格子を外して幔幕を張り、金屏風や銀屏風を背に飾り物を披露しました。



令和3年 夏期特別展
(テーマ:オリンピック・パラリンピック)
天位「スポーツライティングスピード」にんげん会(天満町)
道具:算盤、矢立(江戸時代の携帯用筆記具)
解説:算盤を壁に、矢立をクワイマーに見立て

町内各組が競い合っの、さながら大人の知恵比べのようでした。

しかし時代の移り変わりとともに格子を備えた町家も少なくなり、平成4年からは一般公募し集中展示を行なっています。毎年1月、その年の干支と宮中歌会始のお題をテーマに、高山市民に限って作品を募り、高山市民文化会館にて公開展示を行なっています。

今年のテーマは、令和4年の干支「寅」または歌会始の御題「窓」です。令和4年1月14日(金)～16日(日) 高山市文化会館にて開催されます。

今年は、どんなアイデアがでるか楽しみです。皆様も是非、「飾り物」を楽しんでみてください。

参考文献 飛騨高山の飾り物 (社)高山市文化協会 平成3年発行 (住 記)



令和3年 新春展(テーマ:干支「丑」)
天位「闘牛」:長瀬力造氏(石浦町3)
道具:和錠、鍵
解説:因幡錠と土佐錠を牛に、鍵を勢子に見立て

神岡支部 飛騨市観光大使 神岡実希さんと行く「カオスの街・飛騨神岡」まち歩きオンラインツアーを開催!

飛騨市では、苗字の「神岡」が縁で、飛騨市観光大使に就任していただいた女優の神岡実希さん(ニベア花王アトリックスのCMに出演中)と地元を知り尽くした「ワンダーガイド飛騨」の大田さんが「飛騨神岡の街歩き」を現地から生配信でお届けするオンラインツアーを開催しました。当日は秋晴れの下、昭和の面影があちこちに残る神岡町の「散歩の名所」である、高原川・藤波橋・神坂・月見橋・水屋などをブラ歩きしながら、途中、船津座に立ち寄って「飛騨市で神岡実希さんを応援する会」のメンバーと一緒に飛騨牛と高原川の鮎を堪能し、さらに神岡銘菓のモナカ



オンラインツアーの様子



や名物女将のソフトクリーム、中華そばの人気店などを回って神岡自慢の食を紹介しました。参加者には神岡名産の飛騨牛干し肉、中華そば、和菓子などが事前に自宅に届けられており、その一品への店主のこだわりや美味しさの秘密の説明もありました。このオンラインツアーには63名の参加があり、なかには韓国からの学生さんもいました。またサプライズとして抽選での飛騨牛プレゼントも開催し、休日の楽しい時間を過ごしていただきました。(追分 記)

「令和4年度税制改正に関する提言」の要望活動

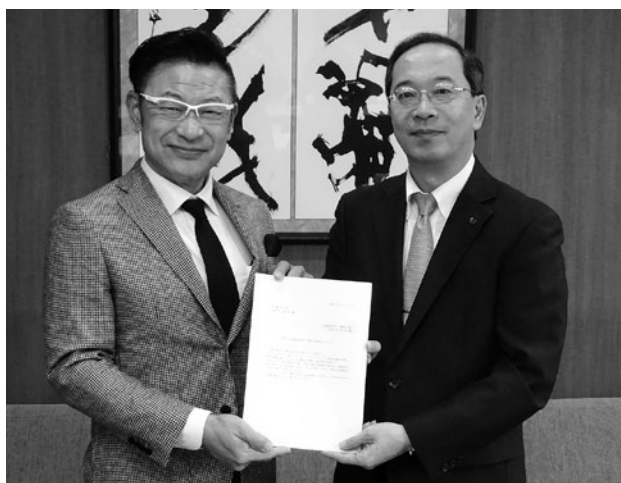
法人会では、毎年公平で健全な税制の実現を目指して会員企業の意見や要望を反映しながら、税のあるべき姿や将来像を見据えた建設的な提言活動を行っており、飛騨法人会では11月15日(月)に金子俊平衆議院議員、國島芳明高山市長、中箴博之同市議会議員へ杉山和宏税制委員長が、また都竹淳也飛騨市長、澤史朗同市議会議員へ渡邊久憲税制委員が、11月24日(水)には山内登下呂市長、一木文一同市議会議員へ千田友倫税制委員、中谷敬子女性部会長がそれぞれ提言書を提出し要望しました。



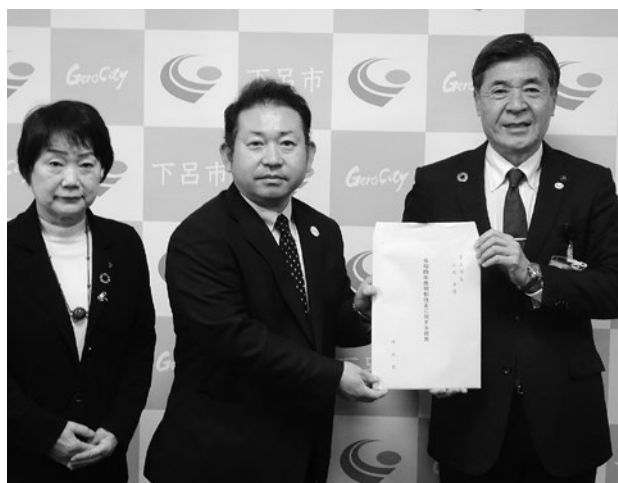
金子衆議院議員(秘書)へ



高山市 國島市長へ



飛騨市 都竹市長へ



下呂市 山内市長へ

新設法人説明会を開催

と き：令和3年11月9日(火) ところ：高山市民文化会館

新たに設立した法人に、正しい申告と納税をしていただくために、法人税、消費税、源泉所得税及び印紙税の基本的な事項について学んでいただくために、新設法人説明会を12名の参加により開催いたしました。

当日は、高山税務署の法人課税第一部門上席調査官の中荒江勸氏が講師となり、会社決算から法人税申告、消費税の仕組みと手続き、源泉徴収の仕方、印紙税の基本的事項や本年10月から登録申請が始まったインボイス制度について法人会が作成した冊子およびDVDを使用して分かり易く説明していただきました。



説明会の様子

女性部会だより

税に関する絵はがきコンクール 令和3年度入賞者へ表彰状の伝達

女性部会が実施しています「税に関する絵はがきコンクール」の令和3年度に上位入賞された児童に対し表彰状を伝達いたしました。12月1日(水)には女性部会長賞の井上るかさん(高山市立丹生川小学校6年)に中谷部会長が、高山税務署長賞の山腰虎丸さん(飛騨市立古川小学校6年)に高山税務署遠藤署長が、また2日(木)には、飛騨法人会長賞の中野舞佳さん(高山市立栃尾小学校6年)に佛坂副部会長が各小学校に伺い直接お渡ししました。



井上るかさん



山腰虎丸さん



中野舞佳さん

青年部会だより

高山税務署長と語る会

と き：令和3年11月30日(火) ところ：ひだホテルプラザ

飛騨法人会青年部会連絡協議会では、遠藤由敬高山税務署長を講師に招き「語る会」を開催しました。当日は29名の参加があり、遠藤税務署長から「税に関する〇〇のはなし」と題して講演いただきました。まずは出身地の愛知県半田市のお話や職歴を紹介され、ご自身の職務の中で私達には馴染みのない「総合特官」の仕事内容や経験談をお話しいただいた。

税務行政の将来像については、申告・納税のデジタル化、調査・徴収でのAIの活用などを説明された。また、コロナ禍での確定申告の混雑緩和のため自宅等からできる「e-Tax」の利用を呼びかけた。



第35回 法人会 全国青年の集い 佐賀大会 開催!

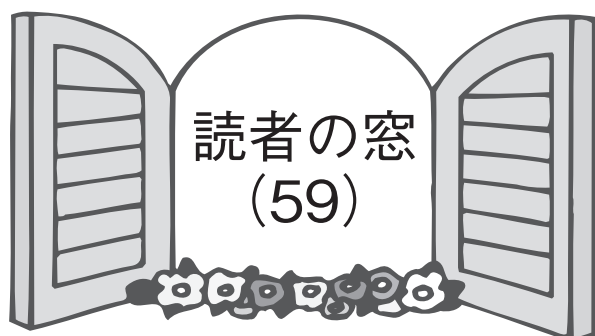
と き：令和3年11月26日(金) ところ：佐賀市文化会館大ホール
(オンライン同時開催)

第35回法人会全国青年の集い佐賀大会が「つなぐ 維新のちから輝ける大切な未来へ」と題して開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となり、2年ぶりの開催となりました。まだコロナ禍が終息したわけではないため、会場への参加は部会長に限定し、メンバーはオンラインでの参加となりました。

今大会は例年開催している「租税教育活動プレゼンテーション」と合わせて青年部会活動の新しい柱の「財政健全化のための健康経営プロジェクト」を競う場として「健康経営大賞」と題して各単位会、会員企業がエントリーの後に勝ち上がった事例の発表があり、租税教育活動と同じく最優秀賞の発表がありました。

来年度は沖縄での開催を予定しており、新型コロナウイルス感染症が終息し、全国からメンバーが集える大会になることを願います。





このコーナーは、読者の皆さんのコーナーです。
税金への色々な主張・ご意見・アイディア・気の利いた写真等を広く会員のみな様より投稿していただきたく、多くの投稿をお待ちしています。
投稿は(公社)飛騨法人会まで、FAX・Eメールにてお願いします。

F A X 0577-33-1093

E-mail hidahojn@siren.ocn.ne.jp

ふるさと納税は節税になるの？

飛騨市 40代 女性

年末が近づくと「ふるさと納税」をした方がよいのかしら?と迷いつつ機会を逃し続けている私です。

ふるさと「納税」とはいいつつも、実際は、自分の応援したい自治体に「寄付」ができる制度。寄付のお礼に自治体から返礼品をもらえることと、寄付した金額の一部を税金から控除することができるため、年々利用者が増えています。

また、全国の自治体から寄付先を選べるだけでなく、寄付金の使い道を指定できるのも魅力ですね。自分の寄付金はこれに使ってもらえるのだと明確にわかり、その自治体をより応援したくなります。

そんな「ふるさと納税」ですが、節税にはなりません。本来は住んでいる自治体に支払う税額分のうち「2千円の自己負担額を超えた寄付金額」をふるさと納税の寄付先に「先払い」をしたということになるだけです。

それでも利用者が増えているのは、返礼品の魅力でしょうね。選んだ返礼品が2千円相当以上であればプラスになる、という考えです。

いろいろ書きつつも、各種申請などの手間がめんどくさい…と思い、手を出さないまま今年も過ぎそうな気がしてなりません。

伝統文化と税金

高山市 30代 男性

先日、「高山の祭屋台が50年ぶりとなる大規模改修を終え、お披露目・完成を祝う」という記事を読んだ。コロナ禍で、各地の祭行事が中止となる中、久しぶりの明るい話題に嬉しくなった。

しかしながら、その記事を読み進め、嬉しさが半減した。記事によれば、その改修工事の費用約5,300万円は、国が5割、県・市が4割、屋台組が1割の負担であるとのことであった。高山祭以外の祭との不公平感を感じるとともに、約9割が税金でまかなわれる高山祭は、もはや氏神様と氏子という地域の祭りではないのだと感じ、また、今後の高山祭の発展に疑問を抱いた。先進的な地域では、伝統文化を守るために、クラウドファンディングや一口城主など、その資金集めに各分野の方々が英知を集結しています。もちろん高山祭もその保存のために尽力されている方がいるのも事実です。しかし、ハングリー精神ある地域には到底及ばないと思います。

高山の祭屋台は、他の地域に類を見ない素晴らしいものです。しかしながら、それに胡坐をかき、国からの補助に頼り切ってしまったとき、それは衰退の一途を辿ってしまうのではないのでしょうか。伝統とは、国や県の指示に従い、同じものを受け継ぐだけでなく、新しく発展させていく観点も必要です。税金に頼らなくても実施できる高山祭を見たいものです。

とは言いながら、260億円かけて全戸に配布されたアベノマスクが在庫保管費用だけで6億円にものぼるという報道を踏まえれば、高山祭のために、もっと多くの税金を使って欲しいとも思います。

謹賀新年



大同生命は

「経営者大型総合保障制度」を通じて、
引き続き、みなさまに大きな安心を
お届けしてまいります。
本年もよろしくお祝い申し上げます。



 大同生命保険株式会社

岐阜支社/岐阜県岐阜市吉野町6-16(大同生命・廣瀬ビル5F)
TEL 058-262-5141

編集 後記

■新年明けましておめでとうございます。皆様には、新年を和やかに迎えることとお慶び申し上げます。昨年は、一昨年同様新型コロナウイルス感染症に振り回された年でしたが、今年からはウィズコロナで生活を見直し元の状態に戻すことができると感じています。新型コロナウイルス感染症の経験を生かし飛躍できる年になることを望みます。

■高山税務署長 遠藤 由敬氏に恒例の“新春よもやま話”を伺いました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の為、法人会の皆さんとの交流があまりできなことを残念に思われていました。今年は、交流を深めることができればと思います。その際には色々ご指導をお願いします。

■年男・年女の皆様おめでとうございます。区切りの年での思いが伝わってきました。その中に、スズキ(株)会長 鈴木修氏の「私の年齢は7掛けで見えていただきたい」という話がありました。これからは、新しい年齢感覚が重要だなと感じました。今後も健康に留意して若々しくご活躍されることを期待します。(H.S)



令和4年1月 公益社団法人 飛驒法人会 広報委員会

住 宏 夫 長瀬 栄二郎 下畑 了三 水口 邦博 加藤 久人 千田 純弘
桂川 卓也 二村 治秀 池畑 尚哉 小林 正和 追分 英輔 佛坂 尚子
富川 由希子 伊藤 順子